

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
大	事業	051	社会教育事業	中	事業	01	社会教育事務事業		
小	事業							他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	社会教育法			
根拠例規					
関連計画・マニュアル					

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 社会教育法に基づく社会教育委員の会を設置し、社会教育行政全般における調査及び審議を通して答申・建議を行うとともに、社会教育指導員を各地区に配置し、地域の課題や市民の要望を反映した社会教育の振興を図る。また、生涯学習講演会を開催し、より高い文化の創造を図る。

【事業の概要】
 社会教育法に基づく社会教育委員の設置・運営

○報酬	社会教育委員15名	510千円
○賃金	社会教育指導員賃金5名	8,912千円
○旅費		103千円
○需用費		32千円
消耗品費		7千円
食糧費		3千円
印刷製本費		22千円
○委託料		803千円
講演会業務委託料		783千円
警備委託料		20千円
○賃借料	機器賃借料	9千円
○負担金		72千円
県社会教育委員連絡協議会負担金		41千円
東海北陸社会教育研究大会負担金		6千円
県社会教育研究集会参加負担金		10千円
県社会教育連絡協議会会費		15千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	1,499	1,472	1,599	27
	人件費	2,720	3,538	2,672	△ 818
	総事業費	4,219	5,010	4,271	△ 791
人員	正職員	0.34 人	0.44 人	0.15 人	△ 0.10 人
	臨時職員	0.25 人	0.25 人	0.65 人	0.00 人
	人員計	0.59 人	0.69 人	0.80 人	△ 0.10 人
財源内訳	国県支出金	216	216	216	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	4,003	4,794	4,055	△ 791

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	生涯学習・スポーツ報告書作成	人	目標	1	1	1	1	1
			実績		1	1	1	1
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明		報告書作成回数						
指標	ふるさとづくり大会参加者数	人	目標		760	359	255	255
			実績		700	229	300	398
			達成率(%)	0.0	92.1	63.8	117.6	156.1
指標の説明		生涯学習講演会の参加者を兼ねる						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	一年間の事業の総まとめとして報告書を作成し、行ってきた事業を検証することにより次年度事業のより良い取り組みにつなげています。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
	生涯学習事業では参加者が増加傾向にある中、生涯学習講演会実施において、ニーズの高い著名な講師を選定することで、老若男女幅広い年齢層の市民参加につながっています。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	社会教育事務事業	継続	これまで通り、多くの市民の参加が期待できる生涯学習講演会の開催など、社会教育・生涯学習事業に取り組んでいきます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由	社会教育事務全体を見直しながら、効率の良い事業の推進に努めていきます。
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
大	事業	051	社会教育事業	中	事業	06	社会教育団体補助事業		
小	事業							他 事業	

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合 計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管 部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
総合 戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（団体補助）	
根拠法令	有	地方自治法			
根拠例規	有	坂井市補助金等交付規則、生涯学習課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コ ス ト	事業費	1,840	1,860	1,810	△ 20
	人件費	1,273	1,958	671	△ 685
	総事業費	3,113	3,818	2,481	△ 705
人 員	正職員	0.07 人	0.16 人	0.10 人	△ 0.09 人
	臨時職員	0.45 人	0.46 人	0.00 人	△ 0.01 人
	人員計	0.52 人	0.62 人	0.10 人	△ 0.10 人
財 源 内 訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	3,113	3,818	2,481	△ 705

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
補助金の交付により社会教育団体の育成と活動の促進を図る。	
【事業の概要】	
○補助金	1,840千円
坂井市PTA連合会事業補助金	250千円
青少年育成団体運営補助金	240千円
・ボーイスカウト第5団	70千円
・ガールスカウト第17団	70千円
・ガールスカウト第20団	70千円
・三国海洋少年団	30千円
坂井市かるた協会事業補助金	350千円
坂井市女性の会運営補助金	1,000千円

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指 標	事業費補助率 ※実績報告書受領後に算出	目標		33.3	33.3	33.3	33.3	33.3
		実績			28	30	25.7	24.6
		達成率(%)		0.0	84.7	88.6	77.18	73.87
指標の説明								
独 自 指 標	1人当たり自己負担金	目標		10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
		実績			10,122	9,871	11,873	14,883
		達成率(%)		0.0	101.2	98.7	118.73	148.83
指標の説明								
指 標		目標						
		実績						
		達成率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指 標		目標						
		実績						
		達成率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	どちらの指標も7団体の平均値として目標に達していますが、各々としてはかなりの差異があります。個々の団体としても目標値に近づけるように取り組んでいきます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題		
	団体の活動内容等にもよりますが、補助率だけでなく上限を決めているため、事業費・会員数が多い団体は、補助率が著しく低くなります。公平性からの点でも改善が必要だと思われます。		
これまでの見直しや改善等の実績	女性の会運営補助金については、段階的に補助額の見直しを行いました。今後は、団体の事業内容について見直す余地がないか検討していきます。 三国海洋少年団に対して、H25年度を最後に団員の減少により一時補助金の申請がありませんでしたが、H30年度より一定額の補助を再開しています。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	社会教育団体補助事業	継続	団体への補助については、補助額（事業費）と併せて、活動内容についてもヒヤリングしながら、適正な補助に努めていきます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由	活動内容にあった適正な補助金の交付に努めていきます。
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
大	事業	151	市民運動推進事業	中	事業	01	市民運動推進事業		
小	事業								他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
市民自らの創意による様々な実践活動を通して、市民憲章に根ざした活力ある住みよいふるさとづくりの推進を図る。

【事業の概要】

○負担金 416千円

坂井市民運動推進協議会負担金 220千円

あすの福井県を創る協会負担金 196千円

第13回坂井市花壇コンクール

審査日 9月18日（火）三国地区・丸岡地区
9月19日（水）坂井地区・広域
9月20日（木）春江地区

場 所 市内の花壇

参加数 60地区団体

坂井市ふるさとづくり大会

期 日 1月23日（水）

場 所 ハートピア春江 大ホール

内 容 坂井市市民運動実践者表彰
生涯学習講座

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	416	416	399	0
	人件費	1,184	1,517	2,001	△ 333
	総事業費	1,600	1,933	2,400	△ 333
人員	正職員	0.07 人	0.11 人	0.05 人	△ 0.04 人
	臨時職員	0.40 人	0.41 人	0.65 人	△ 0.01 人
	人員計	0.47 人	0.52 人	0.70 人	△ 0.05 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,600	1,933	2,400	△ 333

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	ふるさとづくり大会参加者数	人	目標	300	300	300	300	300
			実績		700	229	398	398
			達成率(%)	0.0	233.3	76.3	132.7	132.7
指標	指標の説明 参加人数							
指標	市民運動被表彰者数	人	目標	15	15	15	15	15
			実績		3	11	17	7
			達成率(%)	0.0	20.0	73.3	113.3	46.7
指標	指標の説明 表彰者の個人・団体数（団体は1人と算出する）							
指標	花壇コンクール参加団体数	団体	目標	65	65	65	65	65
			実績		60	67	67	47
			達成率(%)	0.0	92.3	103.1	103.1	72.3
指標	指標の説明 コンクール申込団体数							
指標	花の種配布地区団体数		目標	170	170	170	170	170
			実績		125	110	104	120
			達成率(%)	0.0	73.5	64.7	61.2	70.6
指標	指標の説明 花の種を配布した団体数							
指標に基づく評価	大会参加者や、花壇コンクール参加団体が増えています。事業の内容の検討や周知の徹底などが増加へとつながったと考えます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
	今後も市民運動などについて、さらに周知するなど事業推進に努めます。		
これまでの見直しや改善等の実績	H30福井しあわせ元気国体の花いっぱい運動にあわせ、生育期間を調整するため花壇コンクールの審査を8月から9月へ1か月遅らせています。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	市民運動推進事業	継続	市民自らが進んで地域でのまちづくりに参加できるよう、今後も花壇づくりやふるさとづくり大会（生涯学習講演会）などに取り組んでいきます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由	各取り組みにおいて、市民の参加が増えるような、参加しやすい取り組み内容や方法等、検討しながら継続・実施していきます。
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	施策項目					
実施事業名 (小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	04	国際交流推進費
大事業	001	国際交流推進事業			中事業	01	国際交流推進事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	8	地域全体でもてなすまちづくり		所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	8-2	国際交流・地域交流の推進			生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ	1	移住・定住の促進			
	施策	1-2	Uターンの促進			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	無					
根拠例規	無					
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 市内中学校生徒の英国への派遣と英国からの生徒の坂井市受入れ招へいを実施し、相互のホームステイや授業参加などを通して、国際化時代に対応できる人材を育成する。また、中学1年生を対象とする英国派遣団の事前研修体験イベントや、市内中学生を対象に国際交流イベントを開催し、より多くの生徒に国際交流の機会を提供する。

【事業の概要】

- 英国招へい事業 〈期間〉 平成30年6月27日(水)～7月6日(金) 10日間
 〈招へい人数〉生徒 25人(男子8人、女子17人) 引率者 4人
 (プラスマウルコンプリヘンシブスクール)
- 英国派遣事業 〈派遣期間〉 平成31年3月13日(水)～22日(金) 10日間
 〈派遣先〉 英国ウェールズ カーディフ市
 (パース、オックスフォードおよびロンドン)
 〈派遣人数〉 生徒27人(男子12人、女子15人) 引率者5人
 (市内在住で市内中学校の2年生に在学する生徒)
- 国際交流イベント〈日程〉 平成30年12月15日(土) 9時～16時
 〈参加人数〉市内中学校1～3年生 23名(男子4人、女子19人)
- 派遣団事前研修体験〈日程〉 平成31年2月3日(土) 8時半～14時半
 〈参加人数〉市内中学校の1年生18名(男子10人、女子8人)

○報償費(英国派遣 事前研修講師謝礼 ほか) 202千円
 ○旅費 引率者旅費(5名) 183千円
 ○需用費(消耗品費、食糧費、印刷製本費) 546千円
 ○委託料 (事業運営委託料(招へい、派遣) 10,500千円
 ○使用料及び賃借料 (事前研修時寝具借上料) 58千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	■国際交流(英国派遣)
----------	-------------

3.事業のコスト

(単位:千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	11,489	12,067	9,738	△ 578
	人件費	7,443	7,098	8,392	345
	総事業費	18,932	19,165	18,130	△ 233
人員	正職員	1.10 人	1.00 人	1.25 人	0.10 人
	臨時職員	0.05 人	0.05 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.15 人	1.05 人	1.25 人	0.10 人
財源内訳	国県支出金	1,967	2,142	1,516	△ 175
	その他特定財源	5,800	5,800	5,000	0
	一般財源	11,165	11,223	11,614	△ 58

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標 独自指標	受入れ家庭の満足度(招へい)	%	目標	100	100	100		
			実績		100	90		
			達成率(%)	0.0	100.0	90.0		
指標の説明								
指標 独自指標	参加者の満足度(派遣)	%	目標	100	100	100	100	100
			実績		106	103	95	100
			達成率(%)	0.0	106.0	103.0	95.0	100.0
指標の説明								
指標 独自指標	事前研修の回数	回	目標	10	10	14	14	14
			実績		10	10	14	14
			達成率(%)	0.0	100.0	71.4	100.0	100.0
指標の説明		派遣までの事前研修の回数						
指標 独自指標	英国派遣団員への応募者数	人	目標	100	100	100	100	100
			実績		83	80	99	87
			達成率(%)	0.0	83.0	80.0	99.0	87.0
指標の説明								
指標に基づく評価	国際交流イベントを通しより多くの市内生徒達に交流の機会を提供でき、国際理解教育を一層進めることができました。招へい事業では、春江・丸岡中での交流やホームステイ、授業参加を通し、交流を深めました。派遣事業では、約半年間の事前研修を通して団員同士の士気を高め、現地でも英国生徒とのホームステイやロンドンでの班別研修を通して絆を深めました。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題 英国派遣事業については、派遣団員募集の際に研修日程を示しているにもかかわらず、全員参加が適わないことが多い状況です。また、英国招へい事業では、梅雨の暑い時期であることや、異文化に慣れない英国生徒たちが体調を崩したり、ホームシックになることが懸念されます。
これまでの見直しや改善等の実績	次年度の英国派遣団の事前研修日程については、部活動や学校行事等を鑑み、年度末に学校と協議して、生徒に無理のないスケジュールを考えました。また、団員募集の際に研修全日程参加について再確認するなど、学校側からも働きかけてもらうようにしています。英国招へい事業は、過去に体調を崩した英国生徒もいたことから、今年度は配布する水分を増やしたり、時間的に余裕をもつなど休憩時間をとったりして体調管理に努めた結果、無事交流を終えることができました。

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容（小事業）	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	国際交流推進事業	継続	これまで25名（H29年度からは27名）の生徒を対象に英国派遣事業を行っていますが、限られた派遣団員数でもあり、選ばれた団員に対し、心構えや語学力向上などの研修をして行って実りある事業になるよう努めていきます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由	英国招へい・派遣の成果をより多くの生徒たちに実感してもらえるように、今後も学校と連携し事業を進めていきます。
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	1	移住・定住の促進	施策	1-2	Uターンの促進
	施策項目	(1)青少年へのふるさと意識の醸成				
実施事業名（小事業）	国際交流推進事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	●派遣事業の訪問先について ・今回、英国でウエールズ滞在期間中、UWC（ユナイテッド・ワールド・カレッジ）として最初に設立された歴史のある『アトランティックカレッジ』に訪問しました。日本人留学生の生の声を聴くことで、団員たちも多くの刺激を受け、興味を深めていたようです。次年度以降もウエールズ滞在期間中には、ぜひ訪問先として組み込んでいきたいと感じた有意義なものとなりました。 ※UWC…世界各国から選抜された高校生を受け入れ、教育を通じて国際感覚豊かな人材を養成することを目的とする国際的な民間教育機関。					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業			中事業	01	子ども会育成事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり		所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実			生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ					
	施策					
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	無					
根拠例規	有		生涯学習課所管補助金等交付要綱、坂井市子ども会育成会連絡協議会会則			
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 幼少年期から、家族や先生以外の地域の大人と関わる機会を提供し、地域に根ざした様々な活動体験を通して子どもたちを健やかに育てていくとともに、青少年のリーダーとなる人材の育成を行う。

【事業の概要】

○負担金		155千円
	福井県子ども会育成連合会負担金	65千円
	坂井地区子ども会育成連絡協議会負担金	90千円
○補助金	坂井市子ども会育成連絡協議会運営補助金	1,984千円

ジュニアリーダー活動日数（重複含む）

	平成30年度
依 頼	54日
例 会	93日
自主企画	4日
研 修	2日
合 計	153日

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	2,139	2,138	2,138	1
	人件費	5,854	5,167	3,533	687
	総事業費	7,993	7,305	5,671	688
人員	正職員	0.60 人	0.47 人	0.45 人	0.13 人
	臨時職員	1.03 人	1.03 人	0.20 人	0.00 人
	人員計	1.63 人	1.50 人	0.65 人	0.13 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	7,993	7,305	5,671	688

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	子ども会安全共済会加入率	%	目標	55.0	60.0	62.0	62.0	62.0
			実績		53.4	53.4	52.0	52.3
			達成率(%)	0.0	89.0	86.1	83.9	84.4
指標の説明		市内児童のうち子ども会安全共済会加入者の割合						
指標	育成者研修会参加者数	人	目標	240	250	260	280	280
			実績		237	224	203	230
			達成率(%)	0.0	94.8	86.2	72.5	82.1
指標の説明		各町ごとの育成者研修会の参加者数の合計						
指標	壁新聞コンクール出品数	点	目標	80	100	120	160	160
			実績		69	93	86	87
			達成率(%)	0.0	69.0	77.5	53.8	54.4
指標の説明		坂井市壁新聞コンクールへの出品数						
指標	専門部会の開催数	回	目標	6	6	5	4	4
			実績		12	6	5	2
			達成率(%)	0.0	200.0	120.0	125.0	50.0
指標の説明		総務広報部会、育成指導部会、組織運営部会の開催回数						
指標に基づく評価	壁新聞コンクール出品数は児童数の減少に伴い例年減少傾向にありますが、安全共済会の加入率は同水準を保っています。また、他市へ視察研修を行ったほか、既存のイベントの充実化を図るために専門部会の開催数が倍増するなど、会の事業に関する協議も活発化しています。今後も専門部会の充実を図り、よりよい子ども会活動を推進していくことが重要であると考えます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
これまでの見直しや改善等の実績	<p>子ども会の役員が主体となって事業運営を行うことが理想的ですが、役員は基本的に1年任期であるため、事務局である市が主体とならざるを得ない現状です。子ども会の活性化に意欲のある役員には会に残っていただき、有益な助言をいただいているところですが、各小学校から選出された役員が主体となって市子ども会と町子ども会や単位子ども会のパイプ役を担っていただくことが理想です。</p> <p>会長職をはじめとする役員数名に次年度も継続して事業運営に携わっていただいています。平成28年度に立ち上げた織運営部会において、他市の視察研修を行うなど今後の方向性について協議を行っているところです。また、行政の立場から子ども会を補助することは、青少年の健全育成につながるため、妥当であると考えます。子ども対象のイベントを実施する他団体と連携しながら活動を行うことで、子どもたちの負担にならない形でより楽しめる活動を提供できていると思われまます。</p>		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	子ども会育成事業	継続	少子化や地域社会の希薄化により子ども会活動が形骸化している地域においても、それぞれの実情に合った活動が展開できるよう、市及び町子ども会行事の見直しを行い、時代に即した子ども会活動の支援に努めていきます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由	子ども会育成者のほか、指導者となるジュニアリーダー・シニアリーダーの育成に努め、学校・単位子ども会・まちづくり団体・社会教育団体等からの依頼に応える中で、特に市・町・単位子ども会との連携を強化し、子ども会活動の発展に努めます。子ども会活動の広報を積極的に行い、子ども会活動が形骸化している地域においても、それぞれの実情に合った子ども会活動が展開できるよう努めていきます。
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大	事業	001	青少年健全育成事業	中	事業	06	成人式事業		
小	事業								他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ	1	移住・定住の促進		
	施策	1-2	Uターンの促進		
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 新成人の門出を祝福するとともに、一人ひとりが成人したことを自覚し、これから社会の中で自主的・協力的に行動するよう激励する。

【事業の概要】

〈期 日〉 平成31年1月13日(日) 午後1時30分～
 〈会 場〉 ハートピア春江
 〈対象者〉 新成人1,128人
 〈参加者〉 新成人897名 (男性443人、女性454人 出席率82.7%)

○報償費 867千円
 成人式実行委員等謝礼 60千円
 成人式協力者謝礼 10千円
 記念品等 (越前織名刺入れ) 796千円

○需用費 180千円
 消耗品費 96千円
 食糧費 38千円
 印刷製本費 46千円

○役務費 87千円
 通信運搬費 68千円
 手数料 (クリーニング代) 3千円
 筆耕翻訳 (手話通訳) 料 16千円

○使用料及び賃借料
 会場使用料 (ハートピア春江 ステージ機材使用料) 13千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	■成人式
--------------	------

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	1,147	1,359	1,323	△ 212
	人件費	5,183	5,222	3,475	△ 38
	総事業費	6,330	6,581	4,798	△ 250
人員	正職員	0.77 人	0.74 人	0.50 人	0.03 人
	臨時職員	0.02 人	0.02 人	0.05 人	0.00 人
	人員計	0.79 人	0.76 人	0.55 人	0.03 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	6,330	6,581	4,798	△ 250

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	式典参加率		目標	85	85	85	85	85
			実績		83	80	81	82
			達成率(%)	0.0	97.3	94.0	95.2	96.0
指標の説明		式典参加率						
指標	実行委員数		目標	16	16	16	16	16
			実績		12	16	13	16
			達成率(%)	0.0	75.0	100.0	81.3	100.0
指標の説明		実行委員数						
指標	ホームページ・広報掲載回数		目標	6	6	6	6	6
			実績		7	6	6	6
			達成率(%)	0.0	116.7	100.0	100.0	100.0
指標の説明		ホームページ・広報掲載回数						
指標	ボランティア参加者数		目標	12	12	12	12	12
			実績		10	9	8	9
			達成率(%)	0.0	83.3	75.0	66.7	75.0
指標の説明		ボランティア参加者数						
指標に基づく評価		本年も実行委員会方式で行いました。例年よりもやや少なめの委員数でしたが、自由に意見を出し合って準備を進めました。						

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題 新成人で構成する実行委員会方式も、例年よりも人員が少なかったこともあり準備や式典当日の受付などで苦慮するところもありましたが、全員に実行委員としての自覚を強く持ってもらうことで、積極性・自主性を養う場を造っていきます。
これまでの見直しや改善等の実績	記念品については、ここ数年集合写真の記念アルバムでしたが、今年度は、地元坂井市が全国に誇る越前織の名刺入れを実行委員会で決定し、新成人の新たな門出を祝う品としました。

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	成人式事業	継続	成人式自体は、今後も継続実施していく方向ですが、民法の改正により令和4年4月1日から18歳に成年年齢が引き下げられるため、令和5年成人式開催の成人式について実施の方法を検討していく必要があります。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由	成人式自体は、今後も継続実施していく方向ですが、民法の改正により令和4年4月1日から18歳に成年年齢が引き下げられるため、令和5年成人式開催の成人式について実施の方法を検討していく必要があります。 また、次年度（令和3年成人式）の成人式は、ハートピア春江の大規模改修のため、会場および実施の方法を検討していく必要があります。
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	1	移住・定住の促進	施策	1-2	Uターンの促進
	施策項目	(1)青少年へのふるさと意識の醸成				
実施事業名 (小事業)	成人式事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	【実行員会について】 ・新成人自らが実行委員となり、式典やアトラクション・記念品などの企画・運営を行うことは、成人となる自覚を持ち、積極性・自主性を養う場として意義のあるものと捉えています。今後も、本実行委員会形式で実施していくのが良いと考えますが、年によってはメンバーが揃わないこともあり、実行委員会を構成する新成人のなり手不足が懸念されます。 【記念品について】 ・記念品を昨年度までのアルバムから越前織の名刺入れに変更しました。そのおかげで、式典当日の集合写真の撮影時間を短縮することができたので、例年よりも早めに終えることができました。しかし、写真撮影がないことに関する問い合わせも一部あったため、今後の記念品の決定に関しては十分に検討する必要があると考えます。					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大	事業	001	青少年健全育成事業	中	事業	11	わんぱく少年団事業		
小	事業								他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ	1	移住・定住の促進		
	施策	1-2	Uターンの促進		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市青少年自然体験活動事業実施要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 自然の中で行う様々な体験を通じて、仲間との協力の大切さを学ぶとともに自立心の向上を図り、人との関わりや今後の人生をより豊かに過ごせるような積極性を身につけることを目的とする。

【事業の概要】

〈名称〉 「2018 SAKAIわんぱく少年団」
 〈対象者〉 坂井市内小学校5・6年生16人
 〈実施期間〉 学校週休日・夏休み（6月～3月）
 〈実施回数〉 9回
 〈実施内容〉 結団式、カヌーツーリング、国体に参加しよう（ドッチビー編）、国体に参加しよう（ディスクゴルフ編）、サマーキャンプ、ミステリーウォークラリー、クリスマス会、ウインターキャンプ、修了式

○需用費 279千円

 消耗品費 74千円
 食糧費 205千円

○役務費 傷害保険料 13千円

○使用料 施設使用料（ちくちくぼんぼん、芦原青年の家 ほか） 138千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	■わんぱく少年団
----------	----------

3.事業のコスト

（単位：千円）

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	430	416	318	14
	人件費	4,680	4,695	4,363	△ 15
	総事業費	5,110	5,111	4,681	△ 1
人員	正職員	0.70 人	0.67 人	0.65 人	0.03 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.70 人	0.67 人	0.65 人	0.03 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	93	63	81	30
	一般財源	5,017	5,048	4,600	△ 31

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	参加者の満足度		目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績		100.0	100.0	95.7	100.0
			達成率(%)	0.0	100.0	100.00	95.70	100.00
指標の説明								
指標	募集定員（30人）に対する申込者数の割合		目標	30	30	30	30	30
			実績		16	21	23	27
			達成率(%)	0.0	53.3	70.00	76.67	90.00
指標の説明								
指標	1回あたりの参加団員数の割合		目標	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
			実績		85.4	76.3	81.4	88.5
			達成率(%)	0.0	94.9	84.74	90.44	98.33
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	申込者数が年々減少し、今回は定員の約半数程度になってしまいました。これは、活動の魅力が失われているという可能性も否定できないものの、子どもの多忙化が最大の要因と考えられます。ただし、全10回の活動中、7回で8割以上の14回の参加率で、また参加者の満足度も100%であったことを鑑みますと、本事業が有意義なものであると考えます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題 団員は年度当初に市内の小学5・6年生を対象に募集し、30名程度の団員で1年間の活動をしています。そのため、特定の個人に受益が偏ることが考えられます。
これまでの見直しや改善等の実績	活動内容や規模を鑑みると小学4年生以下を対象にすることは難しく、また、活動毎に団員を募集するのでは継続性、発展性を図ることが難しいので、特定の個人に受益が偏るものある程度は仕方がない事と思われます。

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	わんぱく少年団事業	継続	スポーツ少年団や習い事など児童の多忙化やゲームを好むインドアな児童が増える中、坂井市の自然を体験・体感して楽しめる魅力ある活動内容を取り入れて、今後も活発に活動をしていきます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由
目標年度		
中長期的な方向性	継続	
目標年度		

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ 1 移住・定住の促進 施策項目 (1)青少年へのふるさと意識の醸成	施策	1-2 Uターンの促進
実施事業名 (小事業)	わんぱく少年団事業		
事業で得られたノウハウや気づき等	○郷土への関心を育む ・市内の異なる地域に居住する児童たちが、初めて訪れるような市内各所での活動を通じて、郷土の新たな魅力を発見することができました。 ○次世代を担う青少年の育成 ・他校の児童と共に活動していく中で、自ら話しかけるなどして児童間で積極的にコミュニケーションをとる姿が見られました。 ・また、参加児童の保護者からの事後アンケートからも、1年間の活動を終えて、子供の変化、成長を感じられるとの意見がありました。 ・この事業にジュニアリーダーが深く関わることで、ジュニアリーダーズクラブのメンバーの確保にも繋がっています。		

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業			中事業	16	青少年育成坂井市民会議事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり		所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実			生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策			
	施策	2-3	子育て支援の充実			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（団体補助）		
根拠法令	無					
根拠例規	有		坂井市補助金等交付規則、生涯学習スポーツ課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
近年の青少年を取り巻く環境に鑑み、広く市民の総意を結集して「青少年育成坂井市民会議」を組織し、次代を担う青少年の健全な育成を図る。

【事業の概要】

青少年育成坂井市民会議の主な活動

期 日	事 業 名	場 所
5月26日（木）	青少年育成坂井市民会議総会	たかむく古城ホール
7月14日（土）	非行防止一斉キャンペーン	春江アミ、丸岡ピアゴ
9月26日（水）	「赤ちゃん抱っこ」体験学習 ～28日（金）	丸岡中学校
10月11日（木）	「赤ちゃん抱っこ」体験学習 ～12日（金）	丸岡南中学校
10月15日（月）	「赤ちゃん抱っこ」体験学習 ～16日（火）	坂井中学校
10月17日（水）	「赤ちゃん抱っこ」体験学習 ～18日（木）	三国中学校
10月23日（火）	「赤ちゃん抱っこ」体験学習 ～25日（木）	春江中学校
11月10日（土）	一斉街頭啓発キャンペーン	丸岡ピアゴ、春江アミ
12月1日（土）	坂井市青少年健全育成推進大会	いねす
12月1日（土）	「心の教育講演会」	いねす

○補助金 青少年育成坂井市民会議運営補助金 2,036千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	■青少年育成坂井市民会議事業
----------	----------------

3.事業のコスト

（単位：千円）

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	2,036	5,582	3,126	△ 3,546
	人件費	2,684	2,889	3,789	△ 205
	総事業費	4,720	8,471	6,915	△ 3,751
人員	正職員	0.34 人	0.35 人	0.45 人	△ 0.01 人
	臨時職員	0.23 人	0.24 人	0.30 人	△ 0.01 人
	人員計	0.57 人	0.59 人	0.75 人	△ 0.02 人
財源内訳	国県支出金	0	0	1,000	0
	その他特定財源	0	3,456	0	△ 3,456
	一般財源	4,720	5,015	5,915	△ 295

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	独自指標	賛助会員	目標	120	120	150	150	276
			実績		47	78	89	131
			達成率(%)	0.0	39.2	52.00	59.33	47.46
指標の説明								
指標	独自指標	支部事業数	目標	120	120	120	120	115
			実績		140	138	139	141
			達成率(%)	0.0	116.7	115.00	115.83	122.61
指標の説明								
指標	独自指標	青少年健全育成推進大会来場者数	目標	150	150	150	150	200
			実績		128	156	81	71
			達成率(%)	0.0	85.3	104.00	54.00	35.50
指標の説明								
指標	独自指標	心の教育講演会来場者数	目標	200	200	200	700	200
			実績		107	140	800	126
			達成率(%)	0.0	53.5	70.00	114.29	63.00
指標の説明								

指標に基づく評価
各支部の事業数は一定数を維持していますが、賛助会員数およびそれに伴う賛助金収入の減少は著しいのが現状です。また、青少年育成推進大会や心の教育講演会の来場者数が減少しており、継続して来場者を動員できる内容の充実が必要であると考えます。

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	有効性に課題	
	市が関わっている団体として、組織体系の形骸化や規約の曖昧さを問う声があります。加えて合併により形成された市民会議への認識は、地域によって差があります。そのため時間をかけて、規約および支部単位までの組織を見直し、整備する必要があると考えます。また、保護者世代からの認知度を高め、団体の不透明性を改善する必要があります。		
これまでの見直しや改善等の実績	青少年やその保護者世代の当団体に対する認知度および見守り活動への関心を高めるため、前回、統一した見守り隊の制服を作成しました。現在、朝夕の登下校時に着用し見守り活動を実施しています。市内各所で、同じユニフォームで活動している様子を目にすることで、団体の取り組みが市全体に理解され、少しでも多くの市民に活動が浸透していくことを期待したいと思います。また、「心の教育」「命の教育」にも力を注ぎ、「青少年の育成」への関心が低い層への理解と協力を目標としています。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	青少年育成坂井市民会議事業	継続	今後は、組織体系の形骸化を打破できるよう、各支部との連携および各支部間の情報交換等などに取り組んでいきます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			
		継続	

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策	施策	2-3	子育て支援の充実
	施策項目	(8) 地域ぐるみの次世代育成の促進				
実施事業名 (小事業)	青少年育成坂井市民会議事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<p>○見守り活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども達が巻き込まれる痛ましい事件・事故が発生している昨今、改めて見守り活動の重要性を認識したところです。コミュニティセンター単位の23支部で構成する青少年市民会議は、市全体の見守り活動を網羅できる立ち位置にあることを強みに、地域のPTA、老人会、学校、警察など関係機関と連携を一層密にし、これからも、子どもたちが安心して生活できるよう、見守り活動の連携を強化を図っていきます。併せて、組織内においても、各支部との連携や各支部間の情報交換等に取り組んでいきます。 <p>○「心の教育」「命の教育」の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 青少年育成に関する講演会の開催等を通して、心と命をいつくしむ子を育てる「心の教育」「命の教育（赤ちゃん抱っこ体験学習）」に取り組んでいます。「命の教育（赤ちゃん抱っこ体験学習）」が市内の中学校全5校で実施したのに対し、心の教育講演会への参加者は減少傾向にあります。過去の講演後のアンケートからは、『たいへん参考になった、子どもたちの実態を知ることができた』という意見も多くあり、青少年育成に関する機運の醸成に対し、ある一定の効果があったと考えます。講演テーマや日時の設定など、多くの参加者が集える方法を検討しながら、今後も継続していきます。 					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業			中事業	21	放課後子ども教室推進事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり		所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実			生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策			
	施策	2-3	子育て支援の充実			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	無					
根拠例規	有		学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金交付要綱 他			
関連計画・マニュアル	有		坂井市子ども・子育て支援事業計画・放課後子ども総合プラン			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】		
地域づくり・コミュニティの拠点であるコミュニティセンターで、様々な放課後子ども教室を実施し、子どもたちに安全な居場所や学習・体験活動の機会を提供する。		
【事業の概要】		
主にコミュニティセンターで、学習アドバイザーや安全管理員など、学校・家庭・地域の連携協力推進事業の一部として、地域の方々の協力を得て実施。各地域の実情に合わせてながら、書道やお菓子作り、読書感想文教室など長期休暇の宿題を中心とした教室を開催したり、生け花教室、三味線教室、英語教室など定期的に教室を開催したりするなど、子ども達が安全に学べる機会を提供した。		
○委託料	放課後子ども教室実施委託料 (25教室)	3,931千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	■放課後子ども教室
----------	-----------

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	3,931	3,971	3,976	△ 40
	人件費	3,517	2,724	2,350	793
	総事業費	7,448	6,695	6,326	753
人員	正職員	0.32 人	0.22 人	0.35 人	0.10 人
	臨時職員	0.77 人	0.65 人	0.00 人	0.12 人
	人員計	1.09 人	0.87 人	0.35 人	0.22 人
財源内訳	国県支出金	2,426	2,427	2,484	△ 1
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	5,022	4,268	3,842	754

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	事業実施教室	教室	目標	25	25	25	25	25
			実績		25	24	24	25
			達成率(%)	0.0	100.0	96.0	96.0	100.0
指標の説明		事業実施教室数						
指標	子どもの参加者数	人	目標	13,000	17,500	17,500	17,500	17,500
			実績		15,442	11,148	16,345	14,180
			達成率(%)	0.0	88.2	63.7	93.4	81.0
指標の説明		子どもの参加者数						
指標	実施回数	回	目標	1,000	1,250	1,250	1,250	1,250
			実績		1,534	1,032	1,165	970
			達成率(%)	0.0	122.7	82.6	93.2	77.6
指標の説明		実施回数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価		実施教室数は25教室に戻り、子どもの参加者数、実施回数はともに昨年度の実績を上回っています。						

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
これまでの見直しや改善等の実績	市内の各コミュニティセンターにおいて教室を実施しているため、児童数や学校との距離、通常のコミュニティセンターの利用状況などさまざまな要因から市内の全児童に公平に機会を与えることが難しい状況です。また、児童クラブとの連携により人件費やその他経費の削減や効率化が見込めますが、それぞれ担当課が異なるため連携に向けての協議が必要です。		
	各教室の実施児童クラブと放課後子ども教室の連携について、メリット・デメリットを含めてそれぞれ担当課から周知しました。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	放課後子ども教室事業	継続	地域の参画・協力を得ながら、すべての児童に対して放課後等に多様な体験活動を行う機会を提供し、安全安心な放課後等の居場所づくりと次代を担う人材育成を図っていきます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由	地域の協力を得ながら、すべての児童に対して放課後等に多様な体験活動を行う機会を提供し、安全安心な放課後等の居場所づくりと次代を担う人材育成を図っていきます。すべての児童に平等に機会を提供するため、教室担当者に対する実務的研修の実施を通して各教室の内容の充実化を目指すほか、関係部局と連携をとりながら、児童クラブとの連携を進めていく方向です。
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策	施策	2-3	子育て支援の充実
	施策項目	(4) 放課後児童クラブの充実				
実施事業名 (小事業)	放課後子ども教室事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<p>●安全安心な放課後等の居場所づくり 3世帯同居が減少している中で共働き家庭が多い坂井市においては、児童の放課後における安全安心な居場所づくりが必要であると考えられます。宿題や英語、習字等の教室を実施することで、自宅において児童が一人で留守番をするのではなく、同年代の児童とにぎやかに放課後を過ごすことが可能です。また、各教室においては地域のサポーターの協力を得ており、希薄化する地域コミュニティ再生の役目も担っていると考えます。</p> <p>●次代を担う人材育成 居場所づくりが必要な児童に限らず、多感な幼少期にさまざまな活動を体験することで、心身ともに成熟した青少年の育成に貢献していると考えられます。茶華道、料理、工作、ダンスなどさまざまな教室を提供することで児童の興味関心を引き出し、知的好奇心を高めることが可能です。</p>					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業			中事業	26	合宿通学事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり		所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実			生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策			
	施策	2-3	子育て支援の充実			
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	無					
根拠例規	有		坂井市合宿通学事業実施要綱			
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

【事業の目的】

コミュニティセンターに2泊3日または3泊4日で宿泊し、自分の身の回りのことはすべて自分でいながら自立心を育むとともに、日常生活における家族の苦労や、愛情の深さに気づき、感謝する気持ちを養う。

【事業の概要】

期 間	場 所	対象者	参加人数
6月21日(木)～23日(土)	春江中コミュニティセンター	大石小学校 5年生	38名
10月18日(木)～20日(土)	坂井木部コミュニティセンター	木部小学校 4年生	15名
11月 1日(木)～ 3日(土)	鳴鹿コミュニティセンター	鳴鹿小学校 4年生	20名
11月 7日(水)～10日(土)	三国コミュニティセンター	三国南小学校 6年生	29名
合 計			102名

○委託料 合宿通学事業業務委託料 990千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	■合宿通学
----------	-------

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	990	1,365	986	△ 375
	人件費	11,095	12,097	3,820	△ 1,002
	総事業費	12,085	13,462	4,806	△ 1,377
人員	正職員	1.55 人	1.62 人	0.55 人	△ 0.07 人
	臨時職員	0.41 人	0.41 人	0.05 人	0.00 人
	人員計	1.96 人	2.03 人	0.60 人	△ 0.07 人
財源内訳	国県支出金	479	635	242	△ 156
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	11,606	12,827	4,564	△ 1,221

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標 独自指標	参加者の数 (目標値は参加校の対象児童数合計)		目標	251	114	245	152	133
			実績		102	178	127	110
			達成率(%)	0.0	89.5	72.7	83.6	82.7
	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の説明							
指標に基づく評価	参加は希望制としていますが、今回の参加率は、例年よりも高くなりました。これは、今年度の実施校が対象学年1クラスずつの比較的小規模校であったことが要因であると思われます。(4校中2校でクラス全員参加)活動するコミュニティセンターの施設規模という面で課題もありますが、今後も、参加を希望する児童を全て受け入れられるよう取り組んでいきます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	<table border="1"> <tr> <td>妥当性に課題</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>現在、旧町単位で1校ずつ実施しており、各校毎においては4～7年に一度になってます。保護者からは毎年実施を望むもあるが、当課の人員からは、4校実施で精一杯である為、受益の公平性という観点からも要望に応えられていないのが現状です。</p>	妥当性に課題		
妥当性に課題				
これまでの見直しや改善等の実績	<p>昨年度「竹田農山村交流センター ちくちくぼんぼん」で初めて当事業を実施しましたが、地理的な面での登下校にかかる時間や、施設的な面での調理活動に制約があったため、今年度は従来通り、最寄りのコミュニティセンターを会場に実施しました。このほか、PTAが主催する合宿通学が実施され、事前に事業運営の手順や留意事項のレクチャー、食器類などの備品の貸与等で協力・支援しました。</p>			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	合宿通学事業	継続	本事業の実施（参加対象）学年を高学年（小5、6年生）に限定することで、本事業の成果が効果的に得られるよう今後の継続して取り組んでいきたい。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由	当課の人員からは、現状の4校実施が精一杯であると考えます。そこで今年度のようにPTAや地域団体主催で取り組む意欲のある場合は、出来る限りの支援していきます。
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策	施策	2-3	子育て支援の充実
	施策項目	(8) 地域ぐるみの次世代育成の促進				
実施事業名 (小事業)	合宿通学事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<p>○事業の実施学年 これまでは、小学4～6年生を対象に実施校と調整し実施学年を決めていました。その結果、4年生で実施するケースが多かったため、単なるお泊り会のように、ほとんどを地域のボランティアの方にお世話にいたっていて活動する事業になっていたように感じます。今後は、児童自らが考えて行動できるよう、高学（5、6）年での実施に限定して実施し、事業の成果が効果的に表れるよう取り組んでいきます。</p>					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業			中事業	31	坂井・延岡ジュニア交流事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり		所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実			生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ	1	移住・定住の促進			
	施策	1-2	Uターンの促進			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	無					
根拠例規	無					
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
宮崎県延岡市と坂井市の姉妹都市交流事業の一環として、小学校児童を対象に両市の名所旧跡を学習することを通じて人的交流を図っていく中で、将来的に両市の縁を強めていくことを目的とする。

【事業の概要】
1年ごとに坂井市と延岡市を相互に訪問し交流を行っている。今年度は坂井市に招へいし、延岡市の小学生と交流を行った。

〈期 間〉 平成30年7月31日（火）～8月2日（木） 3日間
 〈参加者〉 坂井市内小学5・6年生 20名、市P連2名、事務局2名
 延岡市内小学5・6年生 19名、市P連2名、事務局2名

○報償費 26千円
 ○需用費 365千円
 消耗品費 128千円
 食料費 232千円
 印刷製本費 5千円
 ○役務費 20千円
 通信運搬費 3千円
 傷害保険料 17千円
 ○使用料及び賃借料 222千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	■坂井・延岡ジュニア交流
----------	--------------

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	633	1,314	460	△ 681
	人件費	2,139	2,242	2,014	△ 103
	総事業費	2,772	3,556	2,474	△ 784
人員	正職員	0.32 人	0.32 人	0.30 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.32 人	0.32 人	0.30 人	0.00 人
財源内訳	国県支出金	185	406	0	△ 221
	その他特定財源	40	500	0	△ 460
	一般財源	2,547	2,650	2,474	△ 103

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	参加者満足度	%	目標	100	100	100	100	100
			実績		100	100	100	100
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
独自指標	指標の説明 交流後アンケート参加者児童の満足度							
指標	参加者の事前研修の回数	回	目標	3	2	2	2	2
			実績		2	3	2	2
			達成率(%)	0.0	100.0	150.0	100.0	100.0
独自指標	指標の説明 交流に向けての事前研修の実施回数							
指標	交流隊申込者数	人	目標	20	20	20	20	20
			実績		36	28	28	42
			達成率(%)	0.0	180.0	140.0	140.0	210.0
独自指標	指標の説明 定員20人に対する坂井・延岡ジュニア交流隊応募者数							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
独自指標	指標の説明							
指標に基づく評価	例年、坂井市児童は、1泊2日だけの交流としていましたが、今回は延岡市児童と2泊3日フル日程で活動を共にしました。ジュニアリーダーによるちくちくぼんぼんの施設をめいっばい活用したゲームや夜のキャンドルサービスなど、坂井市らしい内容で楽しい交流ができたと思います。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績	<p>本事業に2年連続で参加して延岡市児童との友情を深める児童も増えてきつつあり、その中には事業後も継続して交流を続けている児童もいるようです。平成28年度に開館した竹田農山村交流センターちくちくぼんぼんを宿泊先に、これまで以上に坂井市独自の文化や自然を体験できるようになったと考えます。そうした強みを生かして、今後も継続していきます。</p> <p>2泊3日の短期間の交流ではあるが、坂井市児童代表として延岡市児童と積極的に交流できるよう、事前研修会を実施するなどして、有意義な事業になるよう取り組んでいきます。また、今（平成30）年度は災害的猛暑であったため、延岡市児童で体調を崩し救急搬送される場面もありました。なんとか最終日には合流し、全員でお別れができましたが、これから継続して事業実施していくには、日程の時期やその内容、児童に同行する引率者など、改めて検討する必要があると感じました。</p>		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容（小事業）	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	坂井・延岡ジュニア交流事業	継続	竹田農山村交流センターちくちくぼんぼんを宿泊先に、これまで以上に坂井市独自の文化や自然を体験できるよう、今後も有意義な姉妹都市交流になるよう実施していきます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由
目標年度		
中長期的な方向性		
目標年度		

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	1	移住・定住の促進	施策	1-2	Uターンの促進
	施策項目	(1)青少年へのふるさと意識の醸成				
実施事業名（小事業）	坂井・延岡ジュニア交流事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<p>●次代を担う青少年の郷土愛の醸成</p> <p>1 ふるさと坂井の再発見 交流に向けた事前研修では、延岡市児童に尋ねられた時に、ちゃんと坂井市のことについて答えられるよう、「坂井市の友」を作成、配布しました。その結果、参加児童自ら積極的に坂井市のことを調べる姿勢が多く見受けられました。隔年で相互に訪問し交流している本事業ですが、次は、坂井市児童の代表として、延岡市に訪問します。毎年、定員をオーバーする申し込みがある中、選ばれた児童には、坂井市児童の代表であるとの自覚をもって、坂井市の魅力を外部へ発信できるよう坂井市への興味・関心を高める機会を設けながら、今後も事業に取り組んでいきます。</p> <p>2 児童の交流 今回、ジュニアリーダーに依頼し、坂井市・延岡市混合での班毎による脱出ゲームをしました。2泊3日、何かと班別行動をするように交流を促しましたが、単なる見学よりもこういったチームワークが鍵となるゲームでの班活動は、児童たちの交流も推し進めるには、見ていて大変良い手法だと感じました。ジュニアリーダーズクラブは、延岡市には無い仕組みらしく、こういった坂井市の強みを生かして、今後も本事業を推し進めていきます。</p>					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大	事業	051	心の家庭教育支援事業	中	事業	01	心の家庭教育支援事業		
小	事業								他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 家庭の教育力の向上を図るため、現在子育て中の親が子育てに関する情報や学習機会を得られるよう支援体制を作り、地域全体で家庭教育を支えていく基盤の形成を促進する。

【事業の概要】

- 子育て講座
 - 小学校を中心に多くの親が集まる機会（就学時健診時等）を活用して、家庭教育についての学習機会を提供した。（4校）
- 家庭教育支援チーム
 - 元教員、元保育士・子育て経験者などで坂井市家庭教育支援チームを結成し、小学生などの子どもを持つ親(家庭)の心の教育と支援を行った。
- 広報誌の発行
 - 子育てに関する情報やアドバイスなどを掲載した広報誌「ほやほや」を年5回発行した。

○報償費	1,297千円
子育て講座講師謝礼	40千円
家庭教育支援チーム員手当（35名）	1,257千円
○需用費	64千円
消耗品費	59千円
食糧費	5千円
○役務費	家庭教育支援チーム員傷害保険料 28千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	1,389	1,198	1,076	191
	人件費	4,525	2,945	1,806	1,580
	総事業費	5,914	4,143	2,882	1,771
人員	正職員	0.42 人	0.21 人	0.25 人	0.21 人
	臨時職員	0.96 人	0.81 人	0.05 人	0.15 人
	人員計	1.38 人	1.02 人	0.30 人	0.36 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	5,914	4,143	2,882	1,771

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	独自指標	回	目標	5	5	5	4	4
			実績		5	5	5	5
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	125.0	125.0
指標の説明		広報誌「ほやほや」の発行回数						
指標	独自指標	回	目標	19	19	19	19	19
			実績		10	12	18	12
			達成率(%)	0.0	52.6	63.2	94.7	63.2
指標の説明		家庭学習に関する学習・情報交換の機会を提供（子育て講演会・懇談会）						
指標	独自指標	回	目標	50	48	48	48	48
			実績		71	67	61	50
			達成率(%)	0.0	147.9	139.6	127.1	104.2
指標の説明		年間の子ども相談室の開催数（一地区あたり平均値）						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価		子育て講演会の実施校が年々減ってきているため、今後も年度始めから学校への周知を行っていきます。一方、年間の子ども相談会の開催数は年々増加しており、今後も継続した支援を目指します。						

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
	今年度の子ども相談会は全校で実施し、回数も増加しているところですが、一方、保護者相談会の参加者は増加していません。		
これまでの見直しや改善等の実績	全校で実施する子ども相談会に対応するため、家庭教育支援員のメンバーを昨年度よりも2名増し、支援体制の充実を図りました。保護者相談会は、就学時健康診断時に合わせて開催するなど、保護者が集うような機会を捉えて、実施するようにしています。家庭教育支援という活動を保護者へPRしていく必要があると考えます。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	心の家庭教育支援事業	継続	家庭教育の向上を図るため、支援体制の充実に努めていきます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由
目標年度		
中長期的な方向性	継続	
目標年度		

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	06	青少年愛護センター費
大	事業	001	愛護センター事業	中	事業	01	愛護センター事業		
小	事業							他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市青少年愛護センター条例、同条例施行規則		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】		
青少年の健全な育成を阻害するおそれのある行為を、補導活動等により防止することによって、青少年の健全育成を図る。		
【事業の概要】		
○賃金	愛護センター職員賃金（4名）	7,355千円
○報償費	一般補導員手当（延べ1,267名）	1,140千円
○需用費		720千円
	消耗品費	174千円
	燃料費	373千円
	食糧費	50千円
	修繕料	123千円
○役務費		210千円
	通信運搬費	129千円
	手数料	28千円
	自動車保険料	53千円
○委託料		264千円
	エンゼルロード警備保障委託	188千円
	コピー機保守点検委託	76千円
○使用料及び賃借料		171千円
	コピー機リース料等	123千円
	電話賃借料	43千円
	有料道路通行料	5千円
○負担金	全国青少年愛護センター連絡協議会負担金	14千円
○公課費	自動車重量税	8千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	2,527	2,557	3,336	△ 30
	人件費	7,958	8,257	17,968	△ 299
	総事業費	10,485	10,814	21,304	△ 329
人員	正職員	0.12 人	0.14 人	1.15 人	△ 0.02 人
	臨時職員	4.00 人	4.00 人	4.00 人	0.00 人
	人員計	4.12 人	4.14 人	5.15 人	△ 0.02 人
財源内訳	国県支出金	377	383	384	△ 6
	その他特定財源	0	0	1,090	0
	一般財源	10,108	10,431	19,830	△ 323

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	少年等相談件数	件	目標		150	150	150	150
			実績		48	23	119	81
		達成率(%)	0.0	32.0	15.3	79.3	54.0	
指標	指標の説明	電話、来訪併せた少年からの相談件数						
指標	白いポスト回収点数	点	目標		1,000	1,000	1,000	1,000
			実績		767	550	472	1,631
		達成率(%)	0.0	76.7	55.0	47.2	163.1	
指標	指標の説明	市内に設置した白いポストで回収した有害図書等の数						
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	相談件数は、一つの不審者案件に対し、いくつもの所から相談があることで、複数回カウントしている場合も含まれています。今後も、相談窓口の存在そのものを広く周知していきます。また、情報化社会が進む昨今、白いポストの役目も減少傾向にあると思われませんが、回収数は変わらずあるので、今後も有害図書の回収に努め社会環境の浄化活動に取り組んでいきます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題		
	青少年の健全な育成のための活動内容には、地道なものがあり、すぐさま結果にあらわ得るものではない難しさがあるが、継続していく必要のある事業だと考えます。		
これまでの見直しや改善等の実績	今年度も一般補導員との協働により各自治区懇談会や合同巡回街頭補導を実施した。今後もさらに各関係機関と連携した補導体制の充実を図っていきます。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	愛護センター事業	継続	青少年を取り巻く環境に考慮し、事業を継続していきます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由
目標年度		
中長期的な方向性		
目標年度	継続	

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
大事業	051	スポーツ推進委員運営事業			中事業	01	スポーツ推進委員運営事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり		所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-5	生涯スポーツの振興			生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ					
	施策					
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	有	スポーツ振興法				
根拠例規	有	坂井市スポーツ推進委員に関する規則				
関連計画・マニュアル	有	坂井市スポーツ振興基本計画				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 スポーツ推進委員により、スポーツ活動の推進やスポーツイベントへの協力を行ない、市のスポーツ振興を図る。地域のスポーツの推進役として市民のスポーツニーズを把握し、市民が自主的なスポーツ活動を生涯にわたり継続して行なうことが出来るようサポートする。

【事業の概要】
 地域のスポーツの推進役として地域住民のスポーツニーズを把握し必要な取り組みを行なった。また、市民が自主的なスポーツ活動を生涯にわたり継続して行なうことが出来るようサポートした。

- 派遣指導（マリン体操の普及推進、出前ニュースポーツ講座）24回/年
- スポーツイベントの開催 ニュースポーツ教室 年16回/延べ352人
 ニュースポーツ大会 25人
- 各種大会への協力 坂井市古城マラソン大会、坂井市民スポーツ祭他
- 会議等の開催 全体会1回、部会等19回、委員研修2回

○報酬 スポーツ推進委員報酬（@32千円×40人） 1,280千円
 ○旅費 費用弁償 213千円
 全国スポーツ推進委員研究協議会（鹿児島県鹿児島市）
 北陸地区スポーツ推進委員研修会（石川県白山市）

○需用費 被服費・定期刊行物購読料・啓発用消耗品費 575千円
 ○役務費 傷害保険料 72千円
 ○使用料及び賃借料 14千円
 車両借上料・有料道路通行料

○負担金 165千円
 会議・研修会参加負担金 86千円
 県スポーツ推進委員協議会負担金・講習会参加負担金 79千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	2,319	1,913	2,689	406
	人件費	3,142	6,517	3,021	△ 3,375
	総事業費	5,461	8,430	5,710	△ 2,969
人員	正職員	0.47 人	0.93 人	0.45 人	△ 0.46 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.47 人	0.93 人	0.45 人	△ 0.46 人
財源内訳	国県支出金	0	10	0	△ 10
	その他特定財源	50	63	57	△ 13
	一般財源	5,411	8,357	5,653	△ 2,946

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
独自指標	スポーツ推進委員派遣指導 依頼回数		目標	25	25	25	25	25
			実績		24	25	29	31
			達成率(%)	0.0	96.0	100.0	116.0	124.0
指標の説明		スポーツ推進委員派遣指導依頼回数						
独自指標	研修回数		目標	6	6	6	6	6
			実績		7	9	9	10
			達成率(%)	0.0	116.7	150.0	150.0	166.7
指標の説明		研修回数						
独自指標	会議回数		目標	20	20	25	25	25
			実績		19	21	25	25
			達成率(%)	0.0	95.0	84.0	100.0	100.0
指標の説明		会議回数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	派遣指導依頼については、目標値と同程度の派遣依頼数がある（国体を含む）。研修回数については、目標値を上回る研修がある。会議に関しては、今後、少し回数を減らしつつも、今後の方針等を決めていくのに必要程度の回数は必要であると考えます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
	スポレッシュ教室（ニュースポーツ教室）やウォーキング・ウォークラリー大会などを開催しています。また、スポーツイベントへの協力を行っています。スポーツ活動の推進のため継続していく必要のある事業と考えます。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	スポーツ推進委員運営事業	継続	市民を対象に、運動習慣づくりのための「スポレッシュ教室（ニュースポーツ教室）」のほか、健康増進のためのウォーキング・ウォークラリー大会などを開催していきます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由	
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
大	事業	101	保健体育事業	中	事業	01	保健体育事務事業		
小	事業							他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-5	生涯スポーツの振興		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】		
スポーツ振興の充実を図るための事業を行う。スポーツ振興審議会では、スポーツ推進に関する重要事項について調査及び審議を通して協議を行う。 また、各種協議会に対し負担金助成を行う。		
【事業の概要】		
○報償費	協力者謝礼 （東京オリンピック事前キャンプ誘致活動）	4千円
○旅費	特別旅費 （東京オリンピック事前キャンプ誘致活動）	113千円
○役務費	通信運搬費 （東京オリンピック事前キャンプ誘致活動）	26千円
○負担金		8千円
	県公立武道館協議会負担金	4千円
	県体育施設協会負担金	4千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	151	493	2,385	△ 342
	人件費	1,337	2,242	3,021	△ 905
	総事業費	1,488	2,735	5,406	△ 1,247
人員	正職員	0.20 人	0.32 人	0.45 人	△ 0.12 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.20 人	0.32 人	0.45 人	△ 0.12 人
財源内訳	国県支出金	0	149	0	△ 149
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,488	2,586	5,406	△ 1,098

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	各種協議会負担金助成額	円	目標	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000
			実績		8,000	8,000	8,000	8,000
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	オリンピック・パラリンピック東京大会の事前キャンプ誘致活動として、パンフレットの製作を行いました。							

5.事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題 スポーツ振興計画の見直しについては、教育振興基本計画が延長されたことによりスポーツ振興審議会の開催を見送っています。2020年に開催されるオリンピック・パラリンピック東京大会の事前キャンプ地を誘致活動を進めていく必要があると考えます。
これまでの見直しや改善等の実績	

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	保健体育事務事業	継続	オリンピック・パラリンピック東京大会の事前キャンプ誘致活動を進め、2020年の大会当該年度に坂井市内で事前キャンプを開催します。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由
目標年度		
中長期的な方向性	継続	
目標年度		

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	施策項目					
実施事業名 (小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
大	事業	151	国体推進事業	中	事業	01	国体推進事業		
小	事業								他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-5	生涯スポーツの振興		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	スポーツ振興法、国民体育大会開催基準要項			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
福井しあわせ元気国体において、坂井市では、サッカー競技とバレーボール競技が開催されるが、本市を訪れる選手・役員をはじめ応援観戦される人々が十分満足する魅力あふれる大会となるよう、開催準備を円滑に進める。	
【事業の概要】	
○施設等修繕料	898千円
丸岡B&G海洋センター自転車置場塗装	99千円
丸岡体育館床金具取替工事	799千円
○施設用備品購入費	3,458千円
バレーボール競技用ベンチ購入	467千円
体育館暗幕購入	2,991千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	4,356	31,406	1,392,658	△ 27,050
	人件費	5,384	5,115	7,720	269
	総事業費	9,740	36,521	1,400,378	△ 26,781
人員	正職員	0.80 人	0.73 人	1.15 人	0.07 人
	臨時職員	0.02 人	0.00 人	0.00 人	0.02 人
	人員計	0.82 人	0.73 人	1.15 人	0.09 人
財源内訳	国県支出金	0	0	224,178	0
	その他特定財源	0	5,067	945,100	△ 5,067
	一般財源	9,740	31,454	231,100	△ 21,714

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	国体競技施設の整備	施設	目標		4,356	0	4	2
			実績		4,356	0	4	2
			達成率(%)	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	平成30年の福井しあわせ元気国体で使用する施設の大規模改修については、平成28年度中までにすべて完了し、本年度は設備と備品の整備を行いました。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
	平成30年度において、福井しあわせ元気国体、福井しあわせ元気大会が開催されました。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	国体推進事業	完了	

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		完了	方向性の理由
目標年度	平成30年度		
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育振興費
大	事業	001	スポーツ振興事業	中	事業	01	スポーツ大会運営事業		
小	事業								他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-5	生涯スポーツの振興		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	坂井市スポーツ振興基本計画			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
誰もが気軽に参加できるスポーツ活動の場を提供し、市民が生涯にわたって豊かなスポーツライフを楽しめるよう推進するとともに、各種競技大会を支援することにより市のスポーツ振興を図る。

【事業の概要】

坂井市古城マラソン大会	6月3日（日）
ゲストランナー 吉田 香織	
参加者数 3,936人	
坂井市民スポーツ祭	11月18日（日）
参加者数 2,286人	
スポーツフェスタ・各競技大会・教室	
○需用費	103千円
消耗品費	64千円
食糧費	39千円
○役務費 傷害保険料	45千円
○委託料 スポーツ大会委託料	4,800千円
坂井市民スポーツ祭	
（（公財）坂井市スポーツ協会）	2,000千円
坂井市古城マラソン大会	
（（公財）坂井市スポーツ協会）	2,800千円
○補助金	455千円
坂井市古城カップサッカー大会補助金	290千円
坂井・奥越地区高等学校野球大会運営事業補助金	100千円
広域スポーツ大会事業費補助金	65千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	5,404	5,361	9,373	43
	人件費	2,072	1,121	2,014	951
	総事業費	7,476	6,482	11,387	994
人員	正職員	0.31 人	0.16 人	0.30 人	0.15 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.31 人	0.16 人	0.30 人	0.15 人
財源内訳	国県支出金	20	14	12	6
	その他特定財源	0	0	2,806	0
	一般財源	7,456	6,468	8,569	988

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標 独自指標	坂井市民スポーツ祭参加者延べ人数		目標	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
			実績		2,831	3,614	4,830	3,465
			達成率(%)	0.0	62.9	80.3	107.3	77.0
指標の説明		坂井市民スポーツ祭参加者延べ人数						
指標 独自指標	坂井市古城マラソン申込者数		目標	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
			実績		3,936	3,656	4,725	3,621
			達成率(%)	0.0	98.4	91.4	118.1	90.5
指標の説明		坂井市古城マラソン申込者数						
指標 独自指標	スポーツ推進委員会主管教室・大会参加者数		目標	150	150	150	150	150
			実績		93	129	181	152
			達成率(%)	0.0	62.0	86.0	120.7	101.3
指標の説明		スポーツ推進委員会主管教室・大会参加者数						
指標 独自指標	坂井市民スポーツ祭種目協会開催競技数		目標	25	25	25	25	25
			実績		18	24	26	21
			達成率(%)	0.0	72.0	96.0	104.0	84.0
指標の説明		坂井市民スポーツ祭種目協会開催競技数						
指標に基づく評価	坂井市民スポーツ祭参加者延べ人数、坂井市古城マラソン申込者数、スポーツ推進委員会主管大会参加者数、坂井市民スポーツ祭種目協会開催競技数目標値を下回ったが、多くの参加・申し込み・競技数を得ています。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
	坂井市スポーツ振興計画に基づき取り組みます。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	スポーツ大会運営事業	継続	坂井市古城マラソン大会、坂井市民スポーツ祭、スポーツフェスタ、各種競技大会・教室等、及び各種共催競技会への補助を継続して実施します。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由
	継続	
目標年度		

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ		施策	
	施策項目			
実施事業名 (小事業)				
事業で得られたノウハウや気づき等				

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育振興費
大	事業	001	スポーツ振興事業	中	事業	06	スポーツ振興事業		
小	事業							他 事業	

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合 計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管 部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-5	生涯スポーツの振興		生涯学習スポーツ課
総合 戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市スポーツ大会出場激励金支給要綱		
関連計画・マニュアル	有		坂井市スポーツ振興基本計画		

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コ ス ト	事業費	35,565	37,058	36,022	△ 1,493
	人件費	3,276	3,153	4,028	123
	総事業費	38,841	40,211	40,050	△ 1,371
人 員	正職員	0.49 人	0.45 人	0.60 人	0.04 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.49 人	0.45 人	0.60 人	0.04 人
財 源 内 訳	国県支出金	0	0	76	0
	その他特定財源	0	0	253	0
	一般財源	38,841	40,211	39,721	△ 1,371

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
坂井市民のスポーツ振興に寄与する団体に対し補助金を交付し、競技スポーツ・生涯スポーツの推進、また、スポーツによる青少年の健全育成を目的とする活動を支援する。また、予選を勝抜き、全国大会以上の大会に出場する選手・監督を激励することで、市の競技スポーツの振興を図る。

【事業の概要】

○報償費	全国スポーツ大会出場激励金	3,841千円
	・国体	85名
	・全国高等学校総合体育大会	76名
	・国際大会	8名
	・その他全国大会	275名
	計	444名（87大会）
○需用費	消耗品費	7千円
○負担金	クロカンマラソン大会負担金	1,200千円
○補助金		30,517千円
	坂井市スポーツ協会補助金	25,017千円
	坂井市スポーツ少年団補助金	4,000千円
	地域密着型トップスポーツチーム支援事業補助金	1,500千円

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	独自指標	激励金支出人数	目標	350	350	350	350	350
			実績		444	424	396	402
			達成率(%)	0.0	126.9	121.1	113.1	114.9
指標の説明		指標の説明						
指標	独自指標	体育協会加盟団体開催事業数	目標	110	110	110	110	110
			実績		126	126	128	122
			達成率(%)	0.0	114.5	114.5	116.4	110.9
指標の説明		体育協会加盟団体開催事業数						
指標	独自指標	国際大会出場者数	目標	10	10	10	10	10
			実績		8	14	10	24
			達成率(%)	0.0	80.0	140.0	100.0	240.0
指標の説明		指標の説明						
指標	独自指標	国民体育大会出場数	目標	35	35	35	35	35
			実績		89	41	35	28
			達成率(%)	0.0	254.3	117.1	100.0	80.0
指標の説明		指標の説明						
指標に基づく評価		激励金支出人数、体育協会加盟団体開催事業数、国際大会出場者数、国民体育大会出場数ともに目標値を達成しています。						

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない			生涯スポーツの振興、さらなる競技力向上に努めていきます。
これまでの見直しや改善等の実績	平成30年度より激励金交付申請書が一般用、中学高校生用2種類あったのをわかりやすいように1つにしました。			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	スポーツ振興事業	継続	全国スポーツ大会出場激励金、クロカンマラソン大会負担金、各種スポーツ団体に対する助成等を継続して行います。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	令和3年度に「ワールドマスターズゲームズディスクゴルフ競技会」並びに「全国高等学校総合体育大会サッカー競技会」が開催されるため、福井国体に引き続き大規模大会開催による生涯スポーツの振興を図る。
目標年度			
中長期的な方向性	継続		
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	03	体育施設費
大	事業	001	体育施設管理事業	中	事業	01	体育施設管理事業		
小	事業	01	体育施設維持管理事業	01	体育施設維持管理事業	他 事業			

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-5	生涯スポーツの振興		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	指定管理事業	
根拠法令	有	地方自治法第244条の2第3項			
根拠例規	有	坂井市公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例及び同施行規則ほか			
関連計画・マニュアル	有	指定管理者モニタリングマニュアル			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 スポーツ環境の整備充実のため、体育施設の適切な維持管理及び運営を促進し、施設の安全性の確保とスポーツ振興及び利用の推進を図る。

【事業の概要】

- ◆体育施設維持管理事業
 - 旅費 特別旅費 40千円
 - 需用費 修繕料（体育施設修繕費） 99千円
 - 役務費 手数料・火災保険料（公有建物共済分担金） 721千円
 - 委託料 体育施設指定管理委託料、学校開放事業等委託 229,329千円
 - 使用料及び賃借料 土地借上料、有料道路通行料 29,214千円
 - 工事請負費 三国運動公園樹木伐採工事 他11工事 34,211千円
 - 備品購入費 三国運動公園陸上競技場 砂場カバー、おもり 545千円
 - 負担金、補助及び交付金 1,079千円
 - ・指定管理者修繕負担金 1,069千円
 - ・B&G地域海洋センター連絡協議会負担金 10千円
 - 補償、補填及び賠償金 体育施設周辺補償費 292千円
- ◆体育施設整備事業
 - 工事請負費 丸岡スポーツランド駐車場整備工事 24,970千円
 【前年度繰越分】
 - 公有財産購入費 丸岡スポーツランド駐車場整備に係る土地購入 23,339千円
 - 補償、補填及び賠償金 丸岡スポーツランド駐車場整備に係る移転補償 36,866千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	380,705	446,018	677,274	△ 65,313
	人件費	13,437	20,741	4,699	△ 7,304
	総事業費	394,142	466,759	681,973	△ 72,617
人員	正職員	2.01 人	2.96 人	0.70 人	△ 0.95 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	2.01 人	2.96 人	0.70 人	△ 0.95 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	108,891	173,210	289,520	△ 64,319
	一般財源	285,251	293,549	392,453	△ 8,298

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	学校体育施設利用者数	人	目標	81,000	81,000	81,000	81,000	80,000
			実績		72,167	73,608	95,723	80,264
			達成率(%)	0.0	89.1	90.9	118.2	100.3
指標	指標の説明 坂井市内学校体育施設の利用者数							
指標	坂井市体育施設利用者数	人	目標		607,600	658,000	474,000	556,620
			実績		634,646	572,296	487,224	589,674
			達成率(%)	0.0	104.5	87.0	102.8	105.9
指標	指標の説明 坂井市体育施設（29施設）の利用者数							
指標	坂井市屋内温水プール・フィットネスセンター利用者数	人	目標		164,400	162,950	162,770	158,800
			実績		159,756	157,719	166,223	164,763
			達成率(%)	0.0	97.2	96.8	102.1	103.8
指標	指標の説明 施設利用者数（一般利用者と会員利用者の合計）							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	平成29年度は国体プレ大会や2月の大雪など、施設を利用できない期間が長く、目標値を達成できませんでした。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	有効性に課題	
	建設後30年以上が経過した施設が多く、全体的に老朽化が顕著になっています。また、市内に類似施設が多く立地しているため、修繕だけでなく統廃合も視野に入れた検討を行う必要があります。		
これまでの見直しや改善等の実績	体育施設の維持管理に関する総合的なマネジメント計画を策定し、効率的かつ適正な施設運営を行います。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	体育施設維持管理事業	継続	既存体育施設の効率的かつ適正な維持管理を継続して行います。
	体育施設整備事業	継続	体育施設に関するマネジメント計画に基づき、新設・統廃合・機能増強等、各種整備工事を適宜行います。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由	体育施設に関するマネジメント計画に基づき、修繕だけでなく、類似施設の統廃合も視野に入れた効率的かつ適正な施設運営を行います
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					